

県春季サッカー 圧巻V3 八学大女子部が結果報告



八戸

5月の県女子サッカー選手権春季大会で優勝、大会3連覇を果たした八戸学院大学女子サッカー部の選手ら4人が15日、八戸市の小林眞市長に喜びを伝えた。県内11チームが参加した同大会に、同大は2回戦から出場。初戦7-0、準決勝15-0と実力を存分に発揮して順当に勝ち進み、決勝では弘前市のSHRINE L.F.Cを3-1で下

小林市長(左端)に大会3連覇を報告する(右から)妻神副主将、高畠副主将、成田主将、畑中監督

して頂点に輝いた。

畑中幸太監督(30)は「今季のチームは県外選手4人が加わり、ボールを積極的に動かす試合ができていた」と報告。今季から参加している東北女子サッカーリーグ北リーグでは2戦2勝で6チームのトップを走っているとして「女子な

し」リーグの選手を育てた「いい」と抱負を語った。DF成田愛主将(4年)は「今後は全試合無失点の目標達成を目指す」、MF妻神和副主将(同)は「試合後半でバテないよう頑張る」、MF高畠早奈恵副主将(同)は「昨季を上回るチームの攻撃力を生かしたい」と決意を口にした。小林市長は「今後も結果を出し、また報告に来て」と激励した。(若松清巳)